

編集後記

当初の予報では3月20日頃とされていた桜の開花が、寒の戻りと長雨により平年よりも遅れることとなったものの、ようやく開花宣言がなされ、改めて近く花盛りの頃のお花見を楽しみにしながら、この編集後記を書いています。

さて、今回の物性研だよりでは、4件の研究紹介記事が掲載されており、1件目のご研究では、7 eV レーザーを用いたレーザーARPES 計測により、CsV₃Sb₅ のカゴメ格子の超伝導ギャップが極めて高精度で調べられ、CsV₃Sb₅ の超伝導ペアリングの新たなメカニズムが明らかとされています。2 件目では、新たな記憶媒体として期待される、Hf_{0.5}Zr_{0.5}O₂ のストレス印加に伴う絶縁破壊過程を調べ、従来の操作型電子顕微鏡(SEM)では検出が困難であった電極に埋もれた領域での Hf_{0.5}Zr_{0.5}O₂ の電子状態の変化を見るという、レーザー励起光電子顕微鏡(laser-PEEM)を用いたオペランド観察の力を遺憾なく発揮したご研究が紹介されています。また3件目ではグラファイトの磁場を変化させたときの量子振動ピークが、比熱のみ2重ピーク構造を示すことを示したご研究が、詳しい理論的説明と共に紹介されています。そして4件目のご研究では、マイクロメートルオーダーのニッケル三角格子に磁場を印加することで、左右に伝搬する表面弾性波の間で三角格子を透過する効率に差が生じ、波のバレー制御が可能であることが示されました。

また新たに所員として着任された川畑先生からは、「物性研に着任して」で、人間的な営みに強いご興味を抱かれている一方で、物理学において人が生み出すフィクショナルな概念がもたらす物語の素晴らしさと、そこへさらに新たな概念を提示するご自身の研究への取り組みが魅力的な文章で語られています。いずれも今後のさらなるご発展を期待せずにはいられない内容となっておりますので、ぜひ春の陽気と新年度への期待感と共にご一読ください。

井上圭一

【第63号第4号の訂正について】

令和6年1月に発行しました「物性研だより第63巻第4号」につきまして、下記の通り記載に誤りがございました。

P44 「東京大学物性研究所人事異動一覧」

【辞職】

(誤) R5.9.30 森 泰蔵 ナノスケール物性研究部門 助教 京都大学科学研究所 准教授へ

(正) R5.9.30 森 泰蔵 ナノスケール物性研究部門 助教 京都大学化学研究所 准教授へ

訂正の上、お詫び申し上げます。

物性研だよりの購読について

物性研だより発行のメール連絡を希望される方は共同利用係まで連絡願います。

また、物性研だよりの送付について下記の変更がある場合は、お手数ですが共同利用係まで連絡願います。

記

1. 送付先住所変更 (勤務先⇔自宅等)
2. 所属・職名変更
3. 氏名修正 (誤字脱字等)
4. 配信停止
5. 送付冊数変更 (機関送付分)
6. メール配信への変更

変更連絡先：東京大学物性研究所共同利用係

〒277-8581 柏市柏の葉 5-1-5

メール：issp-kyodo@issp.u-tokyo.ac.jp